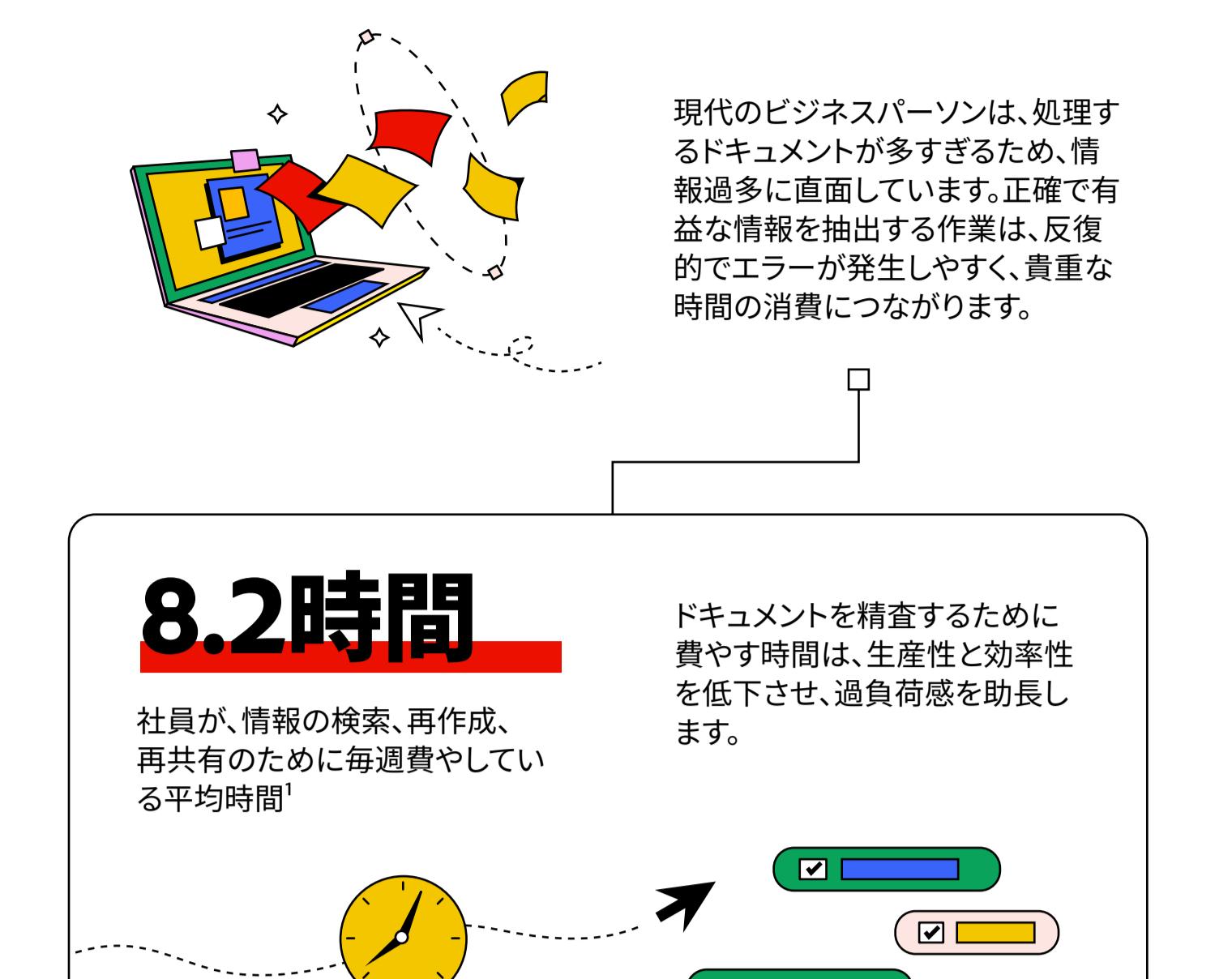
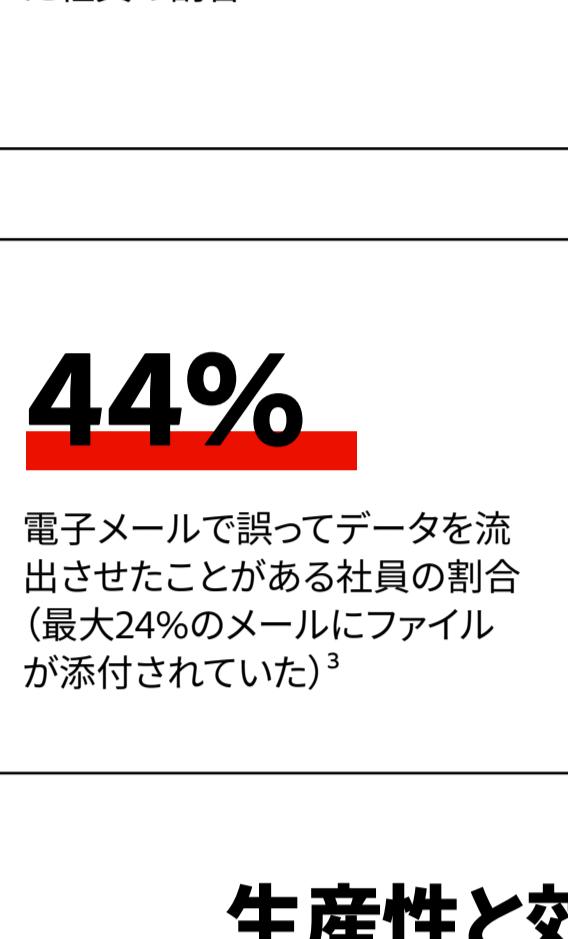


Adobe Acrobatで 生産性を向上

どこからでも安全に日常的な
ドキュメントワークフローを変革



現代の労働環境



現代のビジネスパーソンは、処理するドキュメントが多すぎるため、情報過多に直面しています。正確で有益な情報を抽出する作業は、反復的にエラーが発生しやすく、貴重な時間の消費につながります。

8.2時間

社員が、情報の検索、再作成、再共有のために毎週費やしている平均時間¹

ドキュメントを精査するために費やす時間は、生産性と効率性を低下させ、過負荷感を助長します。

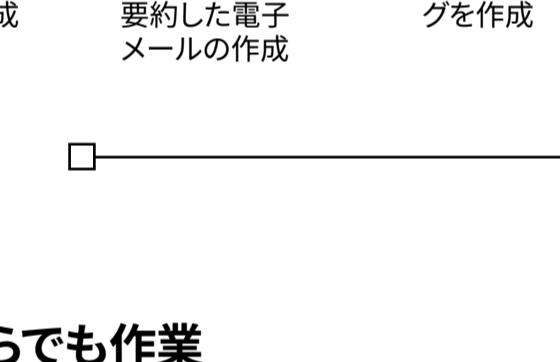


□

58%

「毎日の業務に追われ、その日に処理すべき業務以外のことを考える時間がない」と回答した社員の割合²

毎日の業務に追われてプレッシャーを感じると、細心の注意を払うための精神的な余裕がなくなり、ヒューマンエラーやセキュリティリスクが発生する可能性が高くなります。



生産性と効率性を向上

安全で統一されたドキュメントソリューションのAdobe Acrobatを使用すれば、業務の生産性と効率性を高めることができます。

Adobe Acrobat AIアシスタントで ドキュメントをアクションに変える

AI Assistant

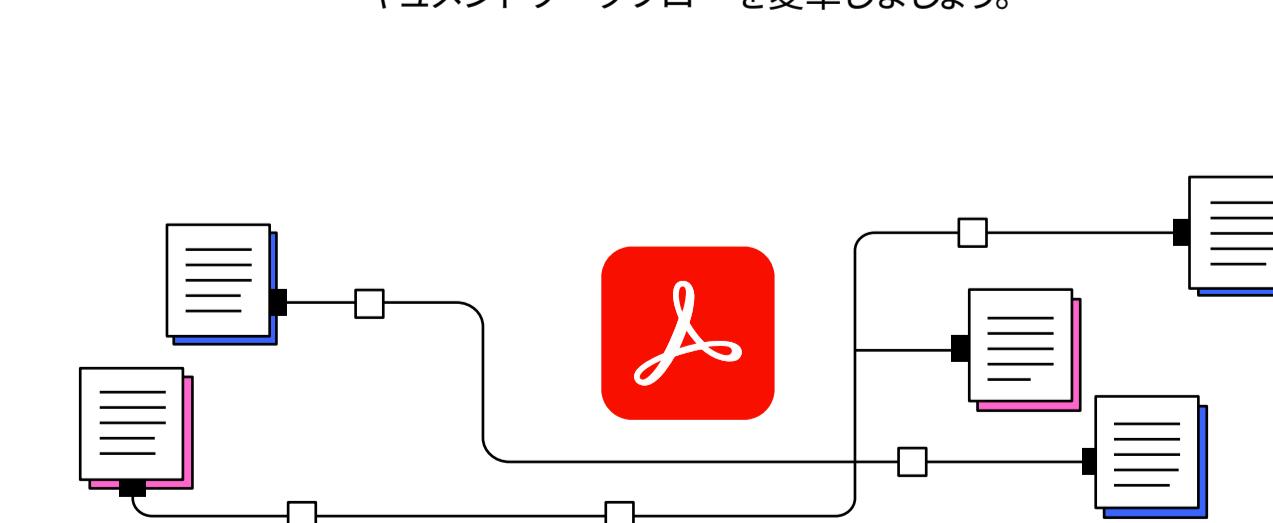
Adobe Acrobat AIアシスタントは、ドキュメントを対話形式で操作するための非常に効果的なツールです。質の高いインサイトをすばやく作成し、ワンクリックで要約を生成することができます。その結果、反復的で単調な作業にかかる時間を減らし、価値の高い業務に注力できるようになります。たとえば、Acrobat AIアシスタントにより、法的契約書のドラフト作成、レビュー、ブランド分析などの作業にかかる時間を大幅に短縮することができます。

Pfeiffer Consultingが実施したベンチマークリング調査では、Acrobat AIアシスタントを使用した場合、単純な作業では14分短縮され、複雑な作業では 約2時間短縮されたという結果になっています。

Acrobat AIアシスタントを使用して作業を行った場合、使用しなかった場合と比べて、平均で約4倍速いという結果になりました。Acrobat AIアシスタントでは、機密文書や機密情報が保護され、LLMのトレーニングで個人情報が使用されることもないため、安心して作業を行うことができます。

Acrobat AIアシスタントで迅速に作業を処理

■ AIアシスタントを使用した場合
■ AIアシスタントを使用しなかった場合



任意のデバイスでどこからでも作業

生産性を最大限に高めるには、シームレスな接続状態を維持する必要があります。現在は、「安全な方法でサーバーにアクセスするには、オフィス内のコンピューターを使用しなければならない」という運用上の制約がある時代ではありません。Acrobatには、web、デスクトップ、モバイルデバイスのいずれからでもアクセスできます。任意のデバイスで安全に作業できるため、チームのパフォーマンスを最大限に引き出すことができます。

また、既存のツールやワークフロー（Microsoft 365やTeamsなど）にAcrobatを統合することにより、複数のアプリケーションを切り替える回数が減るため、プロセスが合理化され、迅速な意思決定と短期間でのプロジェクト完了が可能になります。

48%

日常業務で使用するツールにドキュメントプロセスを接続した場合の作業効率の向上率⁴



現在は、飛行機の中、ホテルのロビー、子供の送り迎え中や車内などでさえ、さまざまな場所で仕事をする機会が増え続けています。どのような場所であっても、高度なセキュリティ機能を備えたアクセシビリティは、現代のビジネス環境において必要不可欠です。Acrobatを使用すれば、あらゆる場所があなたのオフィスになります。

統合されたAcrobatエコシステム

作成 Microsoft 365アプリケーションなどで作成

Web、デスクトップ、モバイルデバイスからアクセス可能なAcrobat PDFファイル

保存 Microsoft SharePointまたはOneDriveに保存

共有 AcrobatまたはMicrosoft Teams経由で安全なリンクを使用

編集 Microsoft Teamsなどで編集

レビュー リアルタイムで、または自分自身でレビュー

セキュリティを確保しながら業務効率を向上

技術パートナーが厳格なセキュリティ要件と法的要件を満たした場合にのみ、最高レベルの生産性と効率性が実現します。

アドビの多層的なセキュリティアプローチは、Acrobatや新しい技術（Acrobat AIアシスタントなど）を含め、すべての製品の設計段階と開発段階に組み込まれています。

アドビは常にセキュリティ環境の更新と監視を行い、お客様のドキュメントとデータを保護しています。暗号化機能、保護モード、保護ビュー（サンドボックス技術の実装）、本人確認機能、墨消し機能（メタデータを含む）など、安心して作業を行うためのAcrobatのセキュリティ機能についてご確認ください。

Acrobatをお試しください

アドビの統合ドキュメントソリューションを使用して生産性と効率性を高める方法をご確認ください。Acrobat AIアシスタントをはじめとする25以上の安全なコラボレーション機能スイートにより、アドビと連携して日常的なドキュメントワークフローを変革しましょう。

Acrobat AIアシスタントの詳細を確認

出典

¹ Fixing Process & Knowledge Productivity Problems: Survey Report. APQC, 2021. <https://www.apqc.org/resource-library/resource-listing/fixing-process-knowledge-productivity-problems-survey-report>

² The State of Work-Workfront, Inc., 2018-2019 <https://www.workfront.com/sites/default/files/files/2018-10/US%20State%20of%20Work%20Report%20WEB%202018-19.pdf>

³ "Data leakage — the risk and messaging channels," LeapXpert, June 22, 2021. <https://www.leapxpert.com/data-leakage-the-risk-the-reality-and-messaging-channels/>

⁴ Adobe Acrobat Pro DC: The ROI of all-in-one.AAdobe, 2022. <https://www.adobe.com/content/dam/dx-dc/au/en/pdfs/acrobat-pro-roi-of-all-in-one-ie-2pp.pdf>

Adobe Acrobat

© 2024 Adobe. All rights reserved.

Adobe, the Adobe logo, and Acrobat are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries.